

令和5年3月

## 沖縄県周辺海域における船舶の地震津波対策に関する調査研究委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、沖縄県周辺海域において想定されているマグニチュード8.0～9.0級の巨大地震が起きた場合に発生する津波が、同県内の港則法適用港6港及びその周辺海域における船舶に及ぼす影響等について調査を行い、津波襲来時における船舶の対応等について検討した。

調査・検討は、平成26年度に沖縄県で実施された同地震に係る津波シミュレーションの結果を基に、調査対象港の主要係留施設の水深と係留船舶の喫水等から津波襲来時の最大水位上昇量及び同下降量を算定し、乗揚げあるいは着底の可能性について検討した。また、港内係留船舶の津波襲来時の沖合避難の可否に関し、操船面での安全性を考慮して各港沖合に避難推奨海域を設定し、同海域への津波到達時間と係留船舶が避難し同海域へ到達するまでの時間を算定して沖合避難の判断材料を提示した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 調査対象海域の環境等
- (3) 既往調査結果の整理（津波シミュレーション）
- (4) 船舶に係る安全性の検討
- (5) 調査対象海域における船舶の地震津波対策に関する検討結果の整理・課題